

第512回 IBC番組審議会

1. 開催日時 平成18年7月26日(水)午前11時
2. 開催場所 デジタルセンター3F Dホール
3. 委員の出席
- | | |
|---------|-------------|
| 委員総数 | 11名 |
| 出席委員数 | 9名 |
| 出席委員の氏名 | |
| 委員長 | 吉沢 正則 |
| 副委員長 | 田代 高章 |
| 委員 | 伊藤 史典 河村 泰信 |
| | 熊谷志衣子 澤口たまみ |
| | 米谷 春夫 宮澤 徳雄 |
| | 矢佐 俊幸 |
- 欠席委員の氏名 小松 務 高橋 健悦
- 会社側出席者
- | | |
|-------|---------------------------|
| 阿部 正樹 | 代表取締役社長
*東京支社から電話回線で出席 |
| 阿部 広 | 常務取締役 |
| 菅野 秀樹 | 取締役テレビ営業局長 |
| 柴田 継家 | 報道局長 |
| 川上 隆 | ラジオセンター長 |
| 鎌田 英樹 | テレビ編成局長 |
| 関野 俊彦 | ラジオセンター制作グループ |
- 事務局
- | | |
|-------|------------|
| 馬場由紀子 | 番組審議会事務局長 |
| 小笠原 勉 | 番組審議会事務局次長 |
4. 議題 『ラジオ三陸キャラバン』

5 . 議事の概要

< 委員の主な発言 >

- ・三陸を旅する二人のアナウンサーも生き生きしており、臨場感も伝わってきて、海に行きたいという気持ちにさせてくれました。
- ・ラジオがコミュニケーションの手段になっている。
- ・人口減などの悩みを抱える三陸にスポットを当てる企画は評価できるが、食べ物に関する情報が多いため季節感がなく、タイムリー性に欠ける気がした。
- ・聴取者に「行ってみたいアンケート」を事前に実施するなどしてキャラバンの場所を決めるなど、聴取者参加型の番組づくりという方向もあったのではないか。
- ・ラジオは音がすべてなので、音にこだわった作り方をしたい。

< 社側 >

- ・三陸キャラバンは昨年、三陸海岸が国立公園に制定されてちょうど50周年を迎えることを機に企画しました。

マスコミの果たす役割として、地域の活性化を常に意識して取り組むことが大きな使命でもあります。どうしても盛岡を中心にした国道4号線沿いとの接触が多く、沿岸部との直接的な接触が少なかった。そういう反省点も含め、本格的な夏が始まる前に、三陸に来るとこんな楽しみがある、こんなおいしいものがあると、三陸に人を呼べるような、三陸の方々に元気を出していただけるような、直接触れ合っていてI B Cラジオに親しんでもらおうとスタートしました。